



全てのことはシンプルに考えよう！感情リリースを完成させよう！

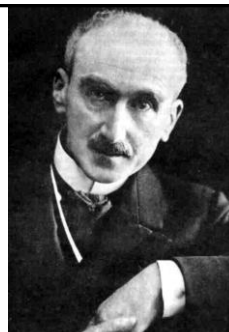
- 不安→期限決めてやってみる
- 悲しみ→友人や家族に連絡
- 返屈→学びたい事は？部屋の模様替え、旅行など
- 劣等感→ご褒美たりないかも...
- 交感神経系→やらなくていいことをやってみるかも。ゆっくり休んで
- 副交感神経系→息抜き。日常からの違う刺激が必要かも
- 内臓→フィットフォーライフ。基本的には内臓休める。
- CORE、四肢、脊柱→自主トレ。

なぜ、特異点リリースにたどり着いたのか？

- 症状のもどりは、なぜ起こるのか？
- それを考えた時に「時間」を考えることはいつか通る必然的な道
- ゼノンの矢のパラドクス。ベルクソンの思考と動き。の理解は、症状改善の本質に大きく気が付く。



「生きることは、変化すること。変化することは成熟すること。成熟することは、自らを削り出し続けることなのです」

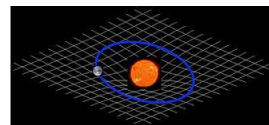


時間は絶対ではない！？
アインシュタインの相対性理論



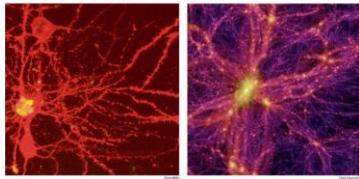
- アインシュタインによれば、時間は絶対でないものではなく観測する立場によって早くなったり遅くなったりする
- つまり伸びたり縮んだりするのだ！
- まるで物質のように！！やはり $E=mc^2$ は本質をとらえているのだろう
- 時間は絶対ではないというのは、我々にトラウマ治療のたくさんのアイデアをもたらす

空間もまた絶対ではなく歪むのである



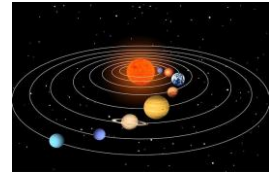
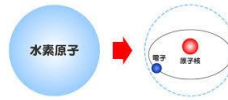
アインシュタインによれば、驚くべきことに相当な量の質量が加わると空間でさえも歪むという。この空間の歪みにより引力が働き地球は公転していると考えられている。

身体も宇宙も構造が全く似ている！？ マイクロとマクロは繋がっているのか！？



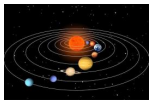
驚くべきことに、脳細胞と宇宙の構造はそっくりだという写真がある。左はネズミの脳細胞。右は宇宙の趣味レーション画像・・・そっくりすぎる！！

身体の中に存在する宇宙



さらに太陽系と原子核の配列もまさに宇宙そのものである。原子核が太陽で電子が地球と考えてみてはどうだろうか？実際にその距離の比率も極めて同じようになるという計算もあるらしい。加えて電子や原子そのものが自転しているというも地球や惑星と何ら変わらないと考えてしまう！

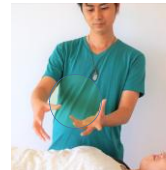
身体の外側は宇宙であるという考え方



人における原子が太陽系の惑星であれば、宇宙空間は身体の外側となる。人がロケットで飛び出しているところは、私達の身体から数センチ離れたところであるといえる。

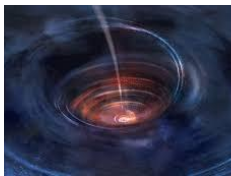
そして、この宇宙空間が歪む可能性があり、時間も歪む可能性があるのだ！

コラム：とりだすことの意味



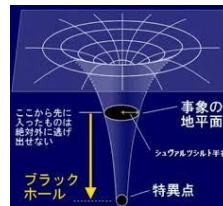
量子を体の外にとり出すということは体からすれば量子を宇宙にとりだされたということである。宇宙には重力の制約はなく、量子もより自由に動くことができる。つまり、(地球の重力の存在はどうしようもないが) 新たなものになる可能性は大きく広がるのだ！

ここで、ブラックホール



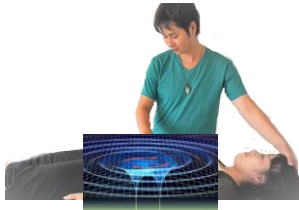
- ・ブラックホールの中心点の特異点とよばれ、我々の理解をはるかに超える超質量と超重力の集まりである
- ・このため、この中心に向かってものすごい引っ張る力が働き、この状態に入った人入ってしまうと光さえも抜けることはできな
- ・つまり光よりも早い速度で引っ張る力が存在している
- ・このため、この周囲の空間ももちろん歪む時間も歪むと考えられている

時の停止：事象の地平面



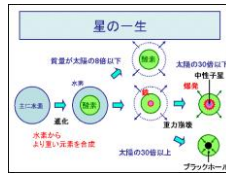
- ・ブラックホールに落ちたものをもしめることが出来れば、その中心で永遠に止まっているようにみえる
- ・これは吸い込まれたものが、超高速で落ちていくので、外にいる止まっている人とのスピードの差が大きすぎて、止まってしまうようにみえる
- ・逆に中の人にはもの凄い早い時間の流れに身をおくことになる
- ・中にいる人は死んでいるが外からみているひとからすると永遠に生きていることになる (ブラックホールパラドクス)

時を停止させるブラックホールは身体にも存在している！



宇宙と脳細胞は似ている。そして、原子の周りを回る原子核と太陽系
同じような構造をしていることを思い出して欲しい
ミクロのものはマクロでも存在する。もし宇宙が体にも存在するのであれば当然ブラックホールも存在しえるだろう
そしてブラックホールの中心点は時が停止している

ブラックホールのでき方



- 様々な原子がぶつかり合った時に消えた質量で膨張するエネルギーを作っているが、それが失われた時にそれまで保っていたエネルギーが無くなり、一気に縮むエネルギーだけになってしまう
- この結果、星自身が持っていた重みに耐えきれず、自らの重みで圧縮されていく現象が起こる
- ブラックホールは星がエネルギーを使い果たした結果できる
- そして、それは質量の大きい星でないとブラックホールにはならない

体でのブラックホールのでき方



- 強いネガティブな感情を抱くときはたくさんの様々な感情が渦巻く。怒り、嫉妬、妬み、悲しみ、絶望など・・・ポジティブな感情と違いネガティブな感情の数が圧倒的に多いこともまた大切な点である
- 感情は自律神経の反応や行動、胸がもやもやなど様々な化学変化を起こす。その時に原子の衝突が起こりそれが激しすぎると重力の方がつよくなりブラックホールとなると考えている
- ブラックホールは星がエネルギーを使い果たした時にできる。体でも同じ。ネガティブな感情がどれだけエネルギーを使うのかは怒ったり悲しんだりした時の体の疲れ具合を考えればよく分かる
- イメージとしては、それまで必死にあらがっていたものが急にあきらめて虚無状態になったときにBRができていると考えている

ネガティブな潜在意識が時を超えてあり続けることのまとめ

- 時間は相対的である
- 空間も歪む
- ブラックホールの中心点では時は停止というか無限になっている
- 体にもブラックホールはできる
- 宇宙と体の構成はとも似ていて、体もまた宇宙である
- ネガティブな潜在意識は複雑な感情の結果できあがる
- さらにネガティブな感情はエネルギーを大量消費する
- 星はエネルギーを使い果たした時に急速に縮みブラックホールとなる
- 身体でも同じことが生じていると考えられる
- ブラックホールの特異点に集中している感情や信念はそこで停止し続けている

演習：何歳からこの潜在意識を引きずっているのかを訊ねる



- 根幹となる潜在意識を特定後に、この潜在意識は何歳から優先なのですか？に聴く
- そして、20歳以上？以下？10歳以上？以下？9？8？7？
- と聞いていきYESが出るまで聞き続ける
- ただし、何歳と特定したところでカウンセリングには役に立つがリリースには大して大事な情報ではない
- 望む未来に歩むためのリリースなので過去は関係ない
- 顕在意識で未来を決めるのだ！
- *過去をみつめることが未来にいい影響をあたえる場合ももちろんある

リリースに深みを与えてくれる知識達

唯物論と唯心論



存在するもの全てが物質的であるとする唯物論。心こそ全ての根源と考える唯心論。どちらも「唯」という文字に代表されるように、とても制限された排他的な考え方であるという点では共通しているのかもしれない

物心論でも心物論でもいいんじゃないの？

$$E=mc^2$$

物はエネルギーであり、エネルギーもまた物であるので、心も物質も等価なものと考えてみてはどうだろうか？心も体も、見えるものも見えないものも大切にしてみようか？我々は自ら可能性を閉ざすような制限された思考にとらわれなくてもいいのだ！もちろん、そう望むのであればそれもいい。自由なのだ！！

とはいえ・・・物心よりも心物の方が速い！



- ・心が先行した方が結果は早い
- ・例えば、筋肉ムキムキになりたいと決めるからムキムキになる。ムキムキになったあとにそうなりたいとは思わない
- ・家を建てたいと思うから家が建つ。たまには建売もあるが、それでは本当に欲しい家は手に入らないし、運がよくないといつまでも家は手に入らないとしても非効率である
- ・この世は心先行なのだ！逆に物質先行で考える方が難しい
- ・だからリリースも構造的でもいいけど、エネルギーでやった方が速い！構造をリリースするよりも信念をリリースした方が速い
- ・心・エネルギー先行というのは当然というかその逆はとても非効率というかわざわざ逆をたどっている気さえる

究極において無限の可能性を与えるセラピーを目指している



- ・健康な人生を選択しても、病気の人生を選択しても、お金や人間関係に豊かな人生を歩んでも、質素を美德としつつましく自分を抑えこんだ人生を歩んでも・・・
- ・その人が顕在意識で望んだ人生であればきっと幸せだろう。
- ・ただし、そこに偏った信念があれば、大きなバイアスとなってしまふ
- ・あくまで公平でニュートラルに人生を選択する自由を与えるお手伝いをしたいと願っているのです

エントロピーの法則



- ・物質はエネルギーの付加された状態であれば秩序を保ち続けるが、そうでない場合は混沌（無秩序）へと向かうという自然法則。
- ・秩序を保つ（想いを形にする）ためには、そういう情報をだれかが与え続けなければならない
- ・これはセラピーにも同じことが言える
- ・つまり、本人を含む誰かがよくなって欲しい、よくなりたいという想いを持ちつ付けていけば、それは秩序をもった形として叶うが、そうでない場合は実体化はしない
- ・無理やりセラピーに連れてこられた人がよくなるのはそのためである

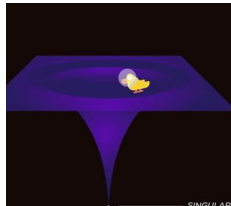
リリース後に観測を続ける意味



- ・リリース後に組織が変化していく様を観測し続けることは、よくなって欲しいというエネルギーを与え続けていることに等しい
- ・よって、治療には絶対的に必要な時間がある
- ・この時の観測をセラピストがやめてしまうと、エントロピーは増大し無秩序なものとなる
- ・つまり、知恵のある身体は治療への道のりを途中でやめてしまふ

ここで再びブラックホール

ブラックホールの最下層はどうなっているのか？



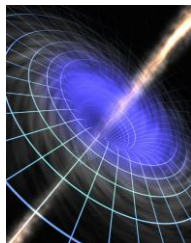
- ・特異点と呼ばれている
- ・すべてのものは素粒子レベルに分解され超高密度で圧縮されている
- ・以前は、すごい重力と質量の圧縮なので、光・素粒子でさえも動く事ができずにすべての活動は停止していると考えられていた
- ・しかし・・・それに異を唱える現代の天才物理学者がいた！！

車いすの天才！ホーキング博士



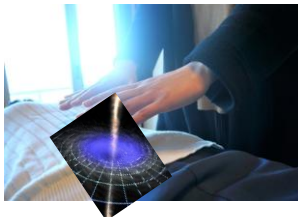
- ・相対性理論と量子力学を組み合わせてブラックホールの謎に迫った。
- ・その結果導かれた数式からはブラックホールの中心からはわずかではあるが熱が放出されている可能性があることを指摘
- ・素粒子さえも動けないような特異点でどうやって熱を放出しているのか？
- ・熱を発生させるためには粒子の運動が不可欠なはずだ！

特異点は異次元となり熱を産生していた



- ・今では特異点では異次元の空間がヒモのようなものがあつまり膜のようにいくつも重なり合っているため高密度に圧縮されていると考えられている
- ・そのため、その折り重なった膜の間を素粒子が行き来できると考えられている
- ・いずれにせよ、ブラックホールは熱を放射しており、それはエネルギーである。エネルギーを放射しているということは質量を失っているということなのでいつか蒸発する
- ・永遠ではないのだ！

感情・信念部位に確認される身体の熱感の正体



- ・ブラックホールの中心から熱が放出されている
- ・もし身体が宇宙と同じ構造でありブラックホールも存在しえるのなら・・・
- ・身体で観察されるプライマリーな感情や潜在意識を特定した部位で感じるわずかな熱感の正体はそれであるのかもしれない

演習：膜宇宙による制限部位の特定方法



- ・宇宙空間は1つの膜のようなものであり、強大な質量により歪む性質をもっている
- ・これは、身体外側数cmに存在する体の宇宙にも当てはめることができる
- ・従って、身体宇宙を膜という概念で観測することができれば、セラピストの手は最も質量の重い点（プライマリーな原因部位）へと自然に引き込まれていく
- ・そして、そこからは必ず熱感が感じ取られる。

演習：身体ブラックホールの評価特徴



- 先に特定した制限部位からさらに一指し指一本で特定できる特異点を探す
- これはスキャンニングの技法をつかうといい
- その部位（特異点）は、どの方向にも筋膜が滑走しないという特徴をもっている
- さらに、この部位を圧縮するとすべての一次呼吸メカニズムが停止してしまうのも特徴である
- それが特定できたらよいよ、体ブラックホールのリリースである

ビッグバン：爆発のエネルギーは新しいものを生み出す



$$E=mc^2$$

地球を含む現在の宇宙は、126億年まえに生じたビッグバンの際の放出されたとんでもないエネルギーが質量へと変わってできたと考えられている。爆発によるエネルギーは新しいものを生み出すのだ！

体のブラックホールをリリースするとどうなるのか？



1. 星がエネルギーを使い果たしブラックホールができる
1. 質量を失いながら熱を放射
1. 質量がある程度失われると、一気にエネルギーを放射しだし最後は爆発する
1. 爆発して放出されたエネルギーはまた、星となったり宇宙の構成要素として再構成される



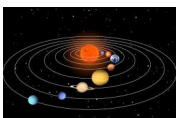
1. ネガティブ感情でエネルギーを使い
1. 質量を失いながら熱を放射
1. リリースをかけるとエネルギーが一気に放出されるので、ことが急速に進み一気に爆発する
1. 爆発して放出されたエネルギーはまた、新たな感情・信念として再構成される（その人やセラピストの想いに導かれて）

特別演習：第3の手を作る



- 片手でリリースできるととても便利。それを利用して、リリース部位をモニターすることができる
- つまり新しい観測ができる
- 観測は新しい現実を作り出すことを知っていればこの意味の大きさに気づくだろう！
- 第3の手のイメージはジョジョのスタンドを用いると分かりやすいかもしれない

特別演習：リリースの瞬間からずっと観測を続けるとどうなっているのか？



- 一指し指一本で体のブラックホールを観測したまま、第三の手を使い信念も含めてリリース
- すると、リリースが生じた直後にエネルギーの放出が加速され一気に収縮に向かう（指が沈み込んでいく）
- そして、リリース（静かな爆発）が生じる
- その後、混沌とした状態（うねうね動き）が続くが観測を続けることにより、秩序がもたらされ新たな組織へと細胞は自己組織化をはじめる
- これらの過程はまるでビッグバンのあとの宇宙創生の縮図をみているようである